

インスリン様成長因子 (Insulin-like growth factor) -II 産生腓外腫瘍における血中および腫瘍組織中のマイクロ RNA の発現量に関する研究

2015年4月1日から2022年2月28日までに日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科にて、IGF-II 産生腓外腫瘍の診断と治療効果判定のために、血液と腫瘍組織の IGF-II の分子量測定を実施した患者さん

研究協力をお願い

当科では「インスリン様成長因子 (Insulin-like growth factor) -II 産生腓外腫瘍における血中および腫瘍組織中のマイクロ RNA の発現量に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2015年4月1日から2022年2月28日までに日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科にて IGF-II 産生腓外腫瘍の診断と治療効果判定のために血液と腫瘍組織の IGF-II の分子量測定を実施した患者さんのこれらの残余検体を使って、IGF-II と同時につくられる可能性のある核酸 (マイクロ RNA) を測定する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：インスリン様成長因子 (Insulin-like growth factor) -II 産生腓外腫瘍における血中および腫瘍組織中のマイクロ RNA の発現量に関する研究

研究期間：研究実施許可日～2026年2月28日

研究責任者：日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科 福田 いずみ

(2) 研究の意義、目的について

インスリン様成長因子 (IGF) -II というホルモンはインスリンによく似た構造のホルモンです。このホルモンを過剰に産生する腫瘍が発生した場合に低血糖症をきたすことが知られています。腫瘍が産生する IGF-II は正常の細胞が産生する IGF-II とはサイズが異なることが知られており、血液中の IGF-II のサイズ (分子量) を解析することで低血糖症の原因が IGF-II によるものであるのかが判明します。また、低血糖症の治療のためには IGF-II をつくっている腫瘍を切除する必要がありますが、実際に切除された腫瘍が IGF-II をつくっているのかどうかを調べるためには、腫瘍組織中に含まれる IGF-II の分子量を測定する必要があります。また治療 (腫瘍切除) がうまくいったかどうかを判定するためには、手術後の血液中に含まれる IGF-II の分子量をもう一度測定する必要があります。しかし、IGF-II の分子量の測定は限られた施設で行えず、その方法も煩雑なのが現状です。そのため IGF-II 産生腫瘍をより簡便に判定する方法がないか検討しています。そこで本研究では、IGF-II の分子量測定に使われた血液と腫瘍組織の残余分から、IGF-II と同時につくられる可能性のあるマイクロ RNA (miR-483-5p/-3p) という核酸の量を測定します。その結果と医学情報から得た所見とを照らし合わせ、IGF-II 産生腫瘍のよりよい診断法や治療効果の判定法としてマイクロ RNA の測定が有用であるのか否か、IGF-II がつくられる腫瘍組織において実際にマイクロ RNA がつくられているのかどうかを明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2015年4月1日から2022年2月28日までに日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科にて IGF-II 産生腓外腫瘍の診断と治療効果判定のために血液と腫瘍組織の IGF-II の分子量測定を実施した患者さんのこれらの残余検体を使って、血液中や腫瘍組織に含まれる miR-483-5p/-3p の量を測定します。そして、血液中や腫瘍組織に含まれる IGF-II の分子量との関係、血糖値や血糖値を下げるホルモン (インスリン、C ペプチド、IGF-I、IGF-II) との関係、腫瘍組織の病理検査結果、手術による影響を調べます。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：血液、手術時に切除した IGF-II 産生が疑われる腫瘍組織とその隣接組織

情報：病歴、年齢、性別、身長、体重、血糖値、血中インスリン値、血中 C-ペプチド、血中 IGF-I および IGF-II 濃度、血液および腫瘍組織に含まれる IGF-II の分子量、腫瘍組織の病理検査結果

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。



(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科 教授 福田 いずみ
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：27538
メールアドレス：i-fukuda@nms.ac.jp